

活動名	キャンプファイヤー (野外活動)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の中で、ひとつの炎を囲み、心静かに自分自身を見つめ、行動をふり返る。 ○ ダンス、スタンツなどの創意工夫の中で、仲間との連帯感や友情を深める。 ○ 楽しい活動を通して、明日へのよりよい生活への意欲をはぐくむ。 	
条件	<p>場所 大屋根広場</p> <p>対象 小学校高学年以上</p> <p>時期 春～秋</p>	<p>時間 1時間～2時間 (天候、人数に応じて変更有)</p> <p>人数 20～200人 (トーチサービスは人数制限有り)</p> <p>天候 小雨可 強風(風速5m以上)不可</p>
提出物	<p>書類 木材注文票 用具貸出票</p>	<p>経費 トーチ棒(完成品):1本275円 トーチ用角棒:1本190円(3×3×92cm) 薪:1籠1,500円(すべてR6.4.1現在)</p>
準備物	<p>貸出 <input type="checkbox"/>CDラジカセ <input type="checkbox"/>マイク <input type="checkbox"/>ランタン <input type="checkbox"/>消火用バケツ</p>	<p>団体準備 <input type="checkbox"/>長袖 <input type="checkbox"/>長ズボン <input type="checkbox"/>軍手 <input type="checkbox"/>マスク</p> <p>(個人準備) <input type="checkbox"/>灯油(トーチ10本で1Lが目安) <input type="checkbox"/>チャッカマン <input type="checkbox"/>衣装 <input type="checkbox"/>CD <input type="checkbox"/>スタンツ関係 <input type="checkbox"/>ランタン用電池(1台につき単一4本)</p>
展開	<p>事前準備 (学校で)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいと当日の流れ(3部構成)を設定する。 ・役割(火の神、火の御子、火の守、司会など)を分担する。必要に応じて練習を行う。 <p>準備 (本番30分前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トーチ棒に灯油をしみこませておく。(児童生徒数+火の神+火の御子+火の守用) ・司会のリハーサル、音響機器(CDラジカセ操作)、照明器具の確認をする。 ・火の神入場からファイヤーサークル点火までの流れを確認し、本番用の衣装に着替える。 ・服装(長袖、長ズボン、軍手)の確認をする。 <p>引率者役割分担(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行補助:1名 ・火の神:1名 ・入場補助:1名 ・消火安全管理:全員 (・照明担当:1名 ・撮影記録:1名 ・トーチ補助1名など、人数が少ない場合は兼務) <hr/> <p>本番 第1部 迎え火のつどい:セレモニアルファイヤー(20～30分) ①開会 ②火の神・御子・守入場 ③火の神の言葉 ④火の守分火 ⑤誓いの言葉 ⑥点火</p> <p>第2部 交歓のつどい:ボンファイヤー(20分～) ①レクリエーション(ダンス・スタンツなど)</p> <p>第3部 送り火のつどい:メモリアルファイヤー(20～30分) ①トーチサービス ②閉会</p> <hr/> <p>事後 片付け(次の日の朝)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済みのトーチ棒は、炊事棟Aの裏へ運び指定された場所に積み上げる。 ・井桁の薪の燃えカスは、貸出用の道具を使って掃除する。 ・井桁の周りに落ちている薪の燃えカスは、貸出用のほうきで掃き取る。 	
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・本番の前に、トーチサービスの立ち位置確認の場を設けて、移動の仕方やトーチ棒の扱い方を指導する。特に、分火の仕方は、安全に十分気を付けるよう指導を徹底する。 ・タオルを首に巻く際は、タオルの端を服の中にしてしまうよう指導する。 ・豪雨や強風の場合は、まんたらめ職員と相談して実施の可否を判断する。 	
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天での実施の場合は、まんたらめ職員とトーチサービスのやり方を相談する。 	

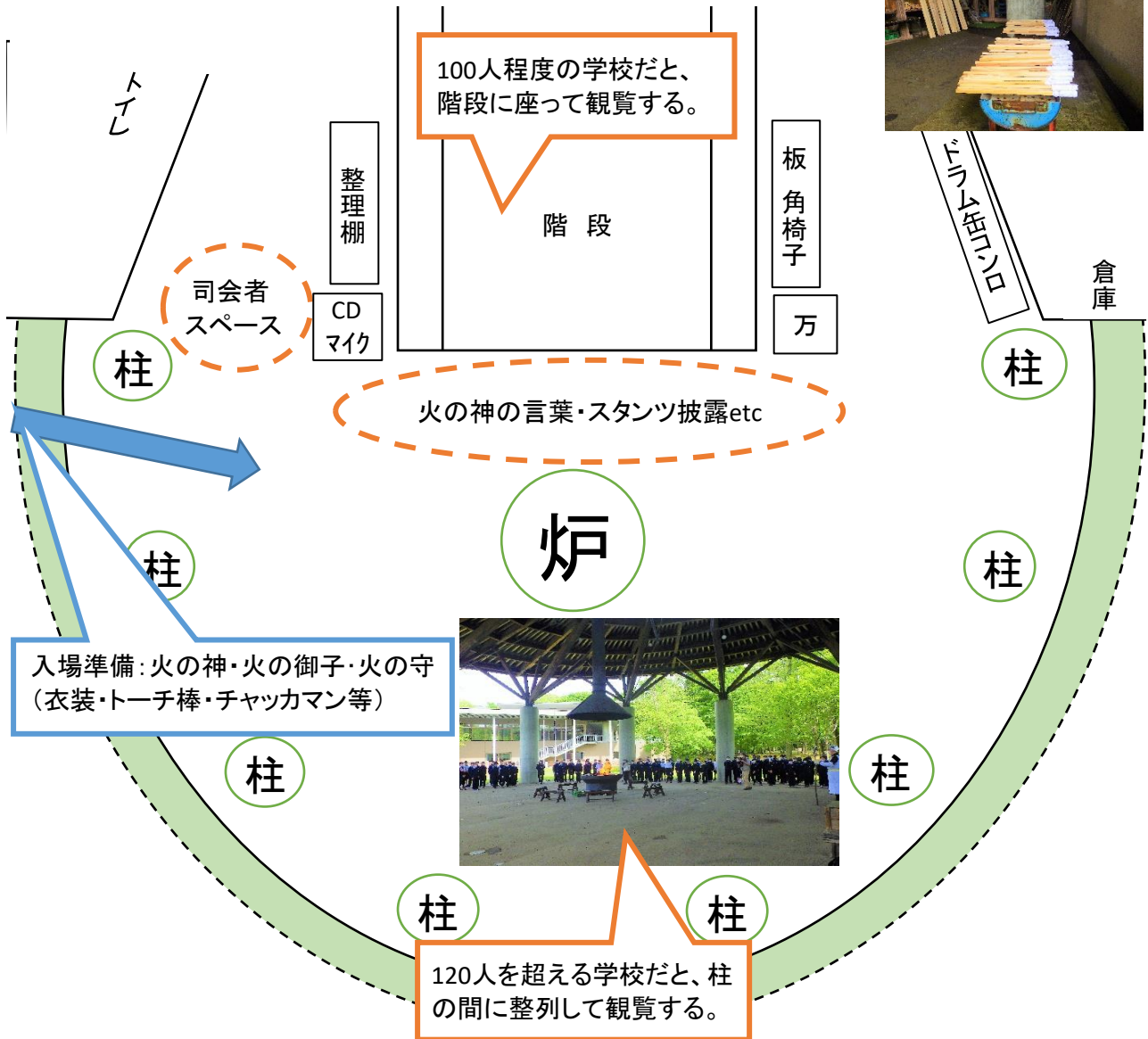
場のイメージ

準備 CDラジカセやマイク等、音響設備は、階段に向かって左側に準備する。
照明は、階段に向かって右側にある倉庫内で調節する。
階段下脇にあるドラム缶コンロの上に、灯油を付けたトーチ棒を並べる。

展開 事前 流れと安全面の配慮を確認する。

- 活動** 第1部 迎え火のつどい(セレモニアルファイヤー)
 ・火の神入場:大屋根広場脇
 ・児童生徒観覧場所:階段(100人程度)or柱の間に整列(120人以上)
- 第2部 交歓のつどい(ボンファイヤー)
 ・スタッツ披露(階段下) ・ダンス(炉の周辺 ※炉には近付かない)
- 第3部 送り火のつどい(メモリアルファイヤー)
 ・トーチサービス(大屋根広場の炉を中心に2~4重円 ※要相談)

事後 トーチ棒を消火用バケツで消火後、炊事棟Aの裏に運ぶ。
薪が燃え尽きた後、使い終わった炉をきれいに掃除する。



参考資料



- 火の神々が大屋根広場の脇から入場する。BGM:「遠き山に日は落ちて♪」



- 火の神の話に耳をかたむける。



- 火の神が火の守に分火し、それぞれ誓いの言葉を述べる。



- 中央にある炉に進む際は、引率者が付き添うか誘導し、井桁に安全に点火する。



- BGM:「燃えろよ燃えろ♪」をみんなで歌い、火の神、火の守は退場する。



- 階段下に広がってスタンプを行う。学級のまとまりや学年の団結力が試される。



- ダンスは、炉から離れて広がり、十分な間隔を空けて安全に踊る。



- トーチサービスは、更に広がって前後・隣同士十分に間隔を空けて行う。BGM:「今日の日はさようなら♪」など